

近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.8 (2017) の発行にあたって

近畿大学次世代基盤技術研究所

副所長 田中 一基



近畿大学次世代基盤技術研究所は前身の工業技術研究所から、平成 21 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されたことを契機として、平成 22 年 4 月に新たな組織として広島キャンパスに設立されました。以後、工業技術研究所の時代から重要視してきた近畿大学工学部の産学官連携事業と研究力強化の取り組みを継続し、発展させて参りました。

まず産学官連携事業につきましては、平成 14 年 10 月に発足した工学部産学官連携推進協力会を中核として、東広島市や広島県の公設機関・産業界、さらには瀬戸内圏の産業界の皆様からの暖かいご支援を賜り、着実に発展しております。次世代基盤技術研究所では「社会連携センター」が連携の窓口となり、工学部研究者との間を取り持つ役割を担っております。

また研究力強化の面では、次世代基盤技術研究所に 6 つの研究センターを置き、自動車技術研究、先端ロボット工学研究、3D 造形技術研究、建築環境研究、先端化学生命工学研究およびサービス工学研究を中心として、広く地域の技術開発・研究ニーズに応えるべく力を注いでおります。

今回、第 8 巻の次世代基盤技術研究所報告をご関係各位にお届けいたします。ここには、社会連携センターと 6 つの研究センターの最近 1 年間の活動報告をはじめ、研究所研究員を含む工学部教員の 1 年間の産学官連携活動で生まれた研究成果を中心とした研究成果報告やその再録論文などを収録しております。平成 13 年から発刊しました工業技術研究所報告の 9 巻を合わせますと、17 冊目の報告書となります。本報告書が産学官連携に向けた最新の技術情報の提供に役立つ資料となり、またこれにより、地域産業界に携わる方々と近畿大学工学部・大学院システム工学研究科・次世代基盤技術研究所とがさらに連携を強化していくことを願っております。

平成 29 年 6 月